

【調査ご協力のお願い】

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、行田市では「子ども・子育て支援法」に基づく新たな制度により、教育・保育・子育て支援の充実を図ることを目的として、「行田市子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、市民の皆様の子育ての実態やご意見等をお聞きすることになりました。

この調査は、学童保育室をご利用の小学校 1 年生から 3 年生のお子さんを対象にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくもので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

全国的に行われる調査でもあり、設問数が大変多くなっていますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 1 2 月

行田市長 工 藤 正 司

【ご記入にあたってのお願い】

- 1.特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- 2.アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
- 3.選択肢がある場合は、番号を○で囲んでください。○の数は質問の最後に（○は 1 つ）とか（○はいくつでも）と示してあります。
- 4.回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 5.数字（年齢や時間等）をおうかがいする質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。なお、時間については、24 時間制（午後 6 時の場合は 18 時）でご記入ください。
- 6.質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印やことわり書きにご注意ください。
- 7.ご記入がすみましたら、恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れて平成 26 年 1 月 24 日（金）までに学童保育室へご提出ください。
- 8.記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

行田市健康福祉部子育て支援課

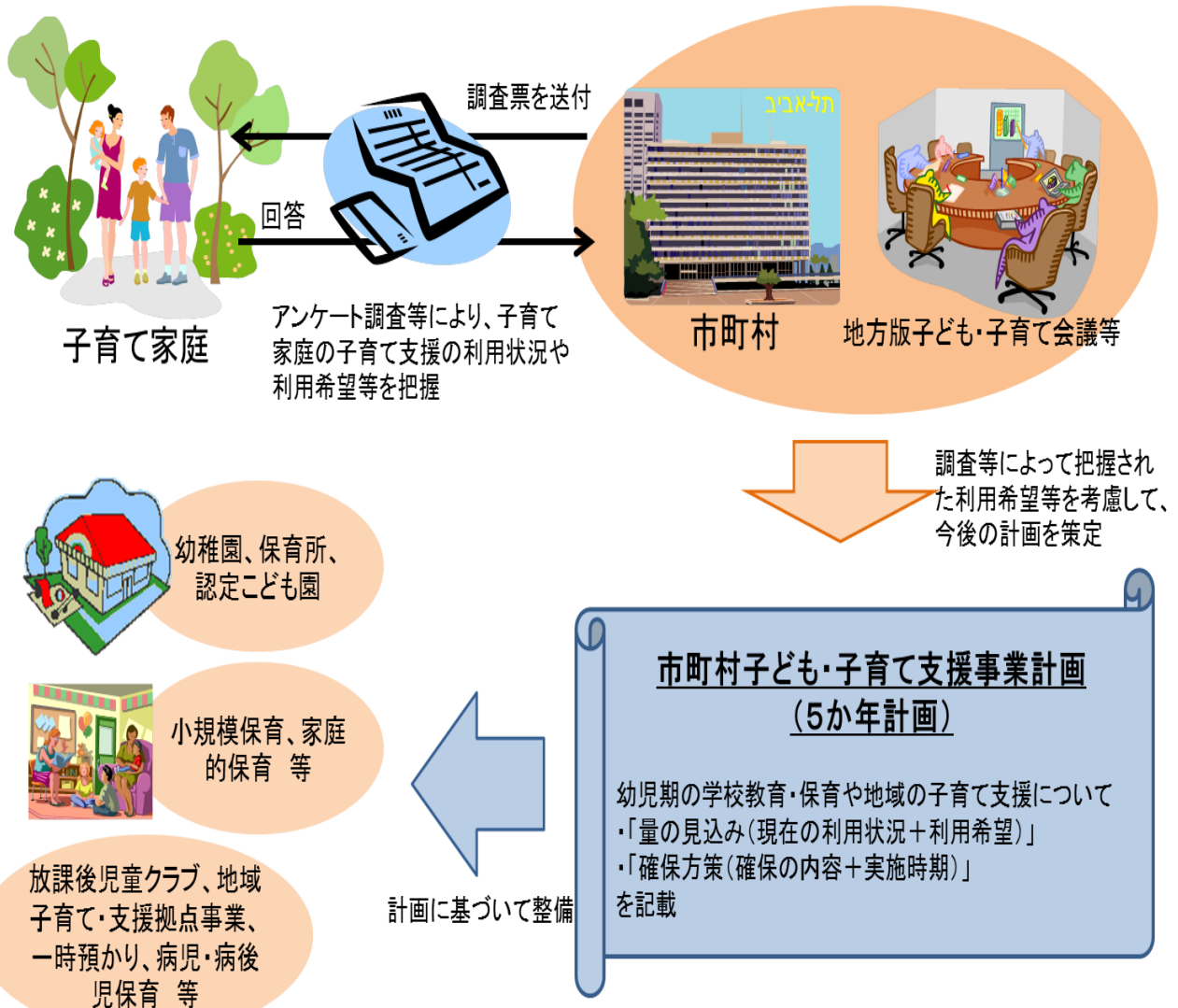
TEL 048-556-1111（内線 292）

回答するに当たってお読みください

この調査は、幼稚園・保育所・放課後児童クラブなどの教育・保育・子育て支援を計画的に整備※するために、住民の皆さんの利用状況や利用希望を把握することを目的としています。〔この調査の回答（施設や事業の利用希望等）により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません〕

※子ども・子育て支援法に基づく新たな制度により、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、市町村が「子ども・子育て支援事業計画」を作成します（新制度は平成27年度から実施予定）。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



（子ども・子育て支援新制度の趣旨）

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）。
- ・ 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）。
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）。
- ・ 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援。
- ・ 教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域は、どの学校区ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 小学校区

1. 東小学校区	2. 西小学校区	3. 中央小学校区
4. 南小学校区	5. 北小学校区	6. 北河原小学校区
7. 荒木小学校区	8. 須加小学校区	9. 埼玉小学校区
10. 星宮小学校区	11. 太田西小学校区	12. 太田東小学校区
13. 下忍小学校区	14. 泉小学校区	15. 桜ヶ丘小学校区
16. 南河原小学校区		

(2) 中学校区

1. 忍中学校区	2. 行田中学校区	3. 長野中学校区
4. 見沼中学校区	5. 埼玉中学校区	6. 太田中学校区
7. 西中学校区	8. 南河原中学校区	

問1-1 小学校区、中学校区が不明な場合に限り、お住まいの地区名をご記入ください。

記入例： 本丸、長野〇丁目 など (地番等は記入不要です)

※問1の(1)(2)で小学校区、中学校区両方に○をつけていただいた方はご記入不要です。

行 田 市 ()

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

平成			年			月生まれ
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数		人	末子の生年月	平成			年			月生まれ
--------	----------------------	---	--------	----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。(問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です)

1. 配偶者がいる

2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 父母ともに

2. 主に母親

3. 主に父親

4. 主に祖父母

5. その他()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 父母ともに

2. 母親

3. 父親

4. 祖父母

5. 幼稚園

6. 保育所

7. 認定こども園

8. その他()

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境 すべて に○をつけてください。

1. 家庭

2. 地域

3. 幼稚園

4. 保育所

5. 認定こども園

6. その他()

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる

2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる

3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる

4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる

5. いずれもない

⇒ 問10へ

⇒ 問9-1へ

⇒ 問9-2へ

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である

3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

6. その他()

⇒ 問10へ)

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問10-1へ 2. いない／ない ⇒ 問11へ

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO
5. 保健所・保健センター
6. 保育所
7. 幼稚園
8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師
10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他【例】ベビーシッター

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

--

宛名のお子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない | } ⇒ (1) -1 へ

} ⇒ 問 14 へ |
|---|--|

（1）-1 （1）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

1 週当たり □ □ 日	1 日当たり □ □ 時間
--------------	---------------

（1）-2 （1）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

家を出る時刻 □ □ 時	帰宅時刻 □ □ 時
--------------	------------

（2）父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない | } ⇒ (2) -1 へ

} ⇒ 問 14 へ |
|---|--|

- (2) -1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

- (2) -2 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり 日
1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
- 1週当たり 日 1日当たり 時間

**宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 15 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

利用している事業・日数（年間）		
1. ファミリー・サポート・センター （保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業）		日
2. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）		日
3. その他（ ）		日
4. 利用していない		

⇒ 問 16 へ

問15で「4. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 15-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

問 16-1 へ

問 16-1 へ

問 16-1 へ

- 問 16-1 へ

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）１８時 のように２４時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。
〔月額利用料：７，０００円程度〕

1. 自宅	週	☐	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	☐	日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	☐	日くらい
4. 児童館 ※１	週	☐	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※２	週	☐	日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週	☐	日くらい
		→	下校時から ☐ ☐ 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	☐	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	☐	日くらい

※１ 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「６．」に回答

※２ 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 18 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）１８時 のように２４時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 ☐ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 ☐ 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 ☐ 日くらい
4. 児童館 ※	週 ☐ 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 ☐ 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 ☐ 日くらい → 下校時から ☐ ☐ 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 ☐ 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 ☐ 日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問 19 問 17 または問 18 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（１）（２）それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）０９時～１８時 のように２４時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（１）土曜日

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯 ☐ ☐ 時から ☐ ☐ 時まで
2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

（２）日曜・祝日

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯 ☐ ☐ 時から ☐ ☐ 時まで
2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで

問 21 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する□内に数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

問21-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問21で「2. 取得した」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問22へ

問21-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（1）母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

（2）父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問21-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問21-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

（1）母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

（2）父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

問21-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）母親

実際の取得期間 歳 ヶ月	希望 歳 ヶ月
---	--

(2) 父親

実際の取得期間	歳 ヶ月	希望	歳 ヶ月
---------	---	----	---

問 21-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。口内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

歳 ヶ月

(2) 父親

歳 ヶ月

21-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 21-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（	）

②父親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（	）

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他（	）

②父親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他（	）

問21-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問21-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問21-7で「3.利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問21-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

問 22 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に 1 つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問 23 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の封筒に入れ、学童保育室へご提出ください。